



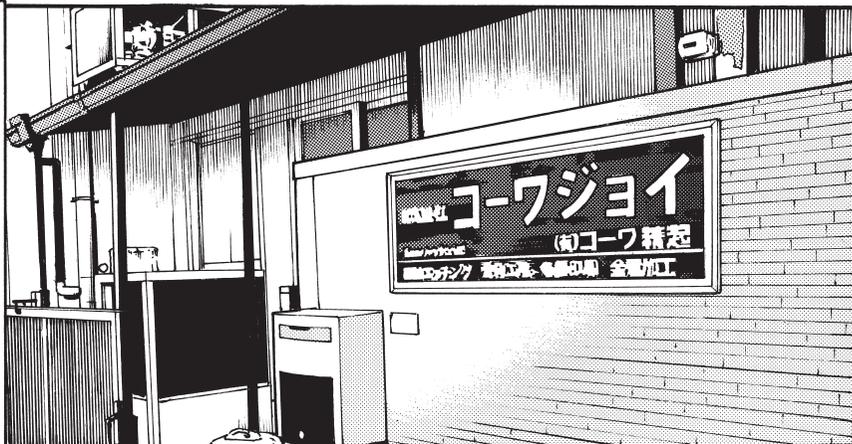
製造業を支えるマルチプレイヤー
「金属の表面加工技術」

株式会社コーワジョイ

作：桂田 健治

中嶋一喜 社長

昭和30年創業
金属製品加工業



(株)コーワジョイ

前社長の父が創業

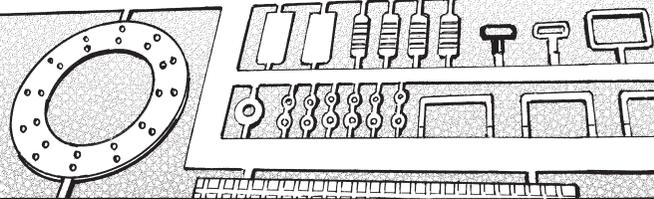
創業当初はライターの加工などを行ってました

観光地のキーホルダーや銘抜など時代と共に作るものは変わっていき今はエッチング加工が中心です



エッチングとは化学薬品による腐食作用を利用して

金属を溶解加工する技術



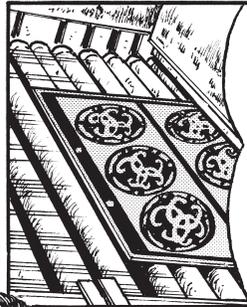
加工する金属の

残す部分にマスクングを施し

エッチング加工機のベルトコンベアに流す

エッチング液が噴射され

マスクングしてない部分が溶けて加工される



精密なエッチングには熟練の技術が必要で

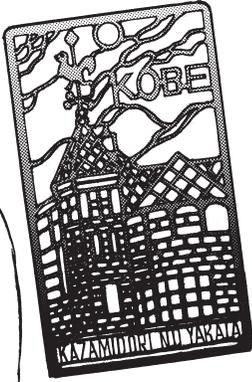
必要以上の腐食はマスクングが剥れて細い線や模様が出来ません

コンベアのスピードと薬品の量を調整する必要がありますが、あとは秘密です



当社独自の20mラインのエッチング加工機

ピアノ線のような
細い金属を残した
繊細な加工も可能です



高価な金型を
作る必要が
ないので

コストが抑えられ
納期を短縮できる
メリットがあります

エッチング加工で制作された金属しおり

当社の強みは
”総合力“

エッチング以外にも
金属の
表面加工に関する
様々な加工に
高レベルで
対応できます

企画・
デザインデータ
から



シルクスクリーン・
インクジェット印刷・
パット印刷など

ホーニング加工
メッキ加工などの
様々な金属加工を
駆使して

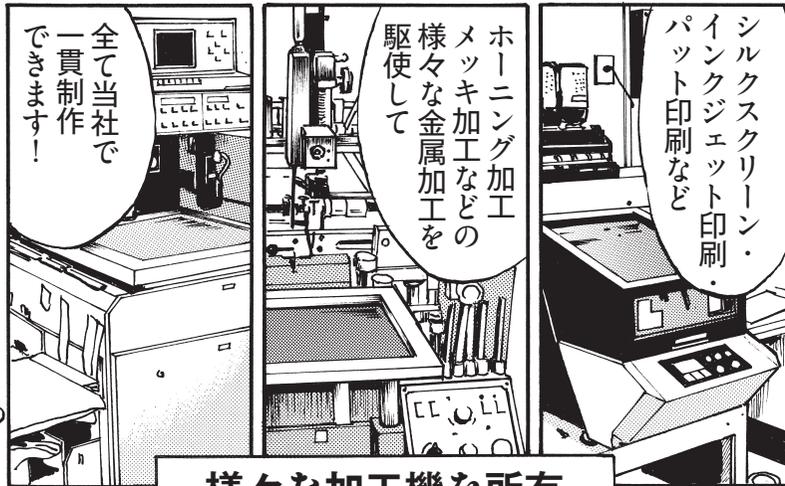
全て当社で
一貫制作
できます！

それぞれの分野で
独立してやっていた位
なんだけどね

注文を断らず
受けているうちに
自然とこうなった
感じです



様々な加工機を所有



エポキシ樹脂を加工して
凹面に入れて、平に研磨する加工



金属の表面に
微細な色入れしていくのは
技術的に難しく
色飛びやにじみなど
不具合が出やすい

当社では
機械的な加工も含めて
細かい部分に
色入れます
技術があります

ラッカー塗装で色入れた
ピンバッチ

接着剤などに
使われる
「エポキシ樹脂」を



塗料化する技術を
創業者である
前社長が確立
特許を取得した

当時、ベルトのバックルや
ライターの
研ぎ上げなどで
エポキシ樹脂の
需要は強く



同業者から
「その技術を
使わせてほしい!!」
という要望が多かった

前社長は

特許で儲ける
つもりはない！

と言って
特許を公開した
という

故・中嶋 宏 前社長

困っている人を
ほっておけないのは
父と同じで

当社に持ち込まれる
案件は他の企業では対応
できなかったものが多い

他社でミスして
納期が
厳しいもの

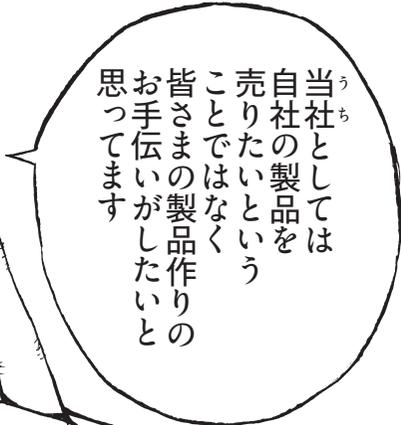
多品種の
もの

小ロット
高品質の
もの

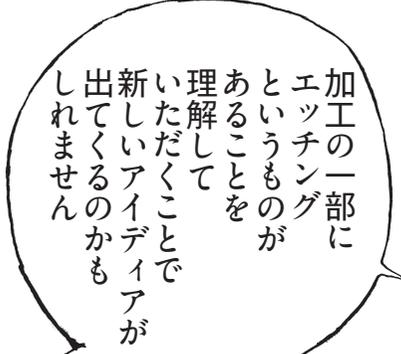


総合的に
対応できるから
同業者から
喜ばれるんだ
よね

困った時の
駆け込み寺に
なってるのかも



うち
当社としては
自社の製品を
売りたいという
ことではなく
皆さまの製品作りの
お手伝いがしたいと
思ってます



加工の一部に
エッチング
というものが
あることを
理解して
いただくことで
新しいアイデアが
出てくるのかも
しれません



機会が
あれば
うちの技術を
活用して
いただければ
うれしい
ですね



高い
技術力とは
高価な
機械や
設備では
なく

人間による
僅かな工夫や
ほんの
数ミリの
調整

その
技術力の
高さから

葛飾ブランド
認定企業
から
一部加工を
依頼される
ことがある



人間の
ちよつとした
コツ・ワザ

これが
積みもり積もって
大きな差がつくと
思ってます



結局は人間のセンス
人間力なんだ

機械を扱うなりの
技術がある



ものづくりを
通じて
人を育てて
いきたい!

国内の
金属の表面加工は
確かに
減少しています
なんとか
葛飾で
この技術を
残していきたい!



中嶋社長率いる
(株)コーワジョイの技術は
これからも世の中に
必要とされ続けるに
違いない!

まさに
金属の表面加工業界の
縁の下の力持ち